

科目区分	専門基礎分野	履修学年	1年後期	単位数	1	時間数	30
科目名	病態学 II			担当教員	外部講師		
使用テキスト	1) メディカ出版 EX 疾患と看護 ④血液/アレルギー・膠原病/感染症 2) メディカ出版 EX 疾患と看護 ⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚 3) メディカ出版 EX 疾患と看護 ⑧腎・泌尿器/内分泌・代謝						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 系統看護学講座 成人看護学【2】内分泌 医学書院 2) 系統看護学講座 成人看護学【2】血液・造血器 医学書院 3) 系統看護学講座 成人看護学【2】アレルギー・膠原病 医学書院 4) 系統看護学講座 成人看護学【2】皮膚 医学書院						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>本科目は既習科目である解剖生理学を土台に、疾病を持つ人のアセスメントや治療・検査時の看護につなげられるように学習する。</p> <p>解剖生理学Ⅱ(恒常性維持のための調節機構・防衛機構)を基に内分泌代謝の疾病・血液・造血器の疾病・皮膚の疾病・自己免疫の疾病の4つの構成から成る。</p> <p>*血液・造血器については解剖生理学Ⅰの内容も含む</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 内分泌に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。</li> <li>2. 血液・造血器に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。</li> <li>3. 皮膚に疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。</li> <li>4. 自己免疫の疾病を持つ人のアセスメントに必要な疾病および治療に関する基礎的知識を理解できる。</li> </ol>							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：自然科学(生物学),生化学,解剖生理学,薬理学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1 2 3 4	<p>内分泌代謝の疾病</p> <p>糖尿病、脂質異常症、バセドウ病、クッシング症候群、褐色細胞腫、下垂体機能亢進</p> <p>検査と治療</p> <p>ホルモン負荷試験、糖尿病内服薬、インスリン療法、インクレチン関連薬 ホルモン療法、甲状腺切除術</p>	外部講師
5 6 7 8	<p>血液造血器系の疾患</p> <p>貧血、白血病、骨髄異形成症候群、突発性血小板減少性紫斑病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、血友病</p> <p>検査と治療</p> <p>骨髄穿刺、免疫抑制剤、抗がん剤</p>	外部講師
9 10 11	<p>皮膚の疾病：熱傷、湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹、疥癬、天疱瘡</p> <p>検査と治療：パッチテスト、病理組織法検査</p>	外部講師
12 13 14	<p>自己免疫の疾病：全身性エリテマトーデス(SLE)、慢性関節リウマチ、シェーグレン症候群、強皮症、多発性筋炎</p> <p>検査と治療：病理組織学的検査、副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬、抗リウマチ薬、生物学的製剤</p>	外部講師
15	終講試験 まとめ解説	